



Title	糖尿病患者の歯周病 - 糖尿病教育入院患者における分析 -
Author(s)	根岸, 淳
Description	発表者: 根岸 淳
Relation	糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科合同シンポジウム / 北海道歯科医師会 . 平成24年3月24日 . 札幌市 . 札幌グランドホテル2階 金枝の間
Issue Date	2012-03-24
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/50052
Type	lecture
File Information	20120324_sympo.pdf



平成24年3月24日

糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科合同シンポジウム

糖尿病患者の歯周病

—糖尿病教育入院患者における分析—

北海道大学病院口腔総合治療部

根 岸 淳

北海道大学病院歯科診療センター



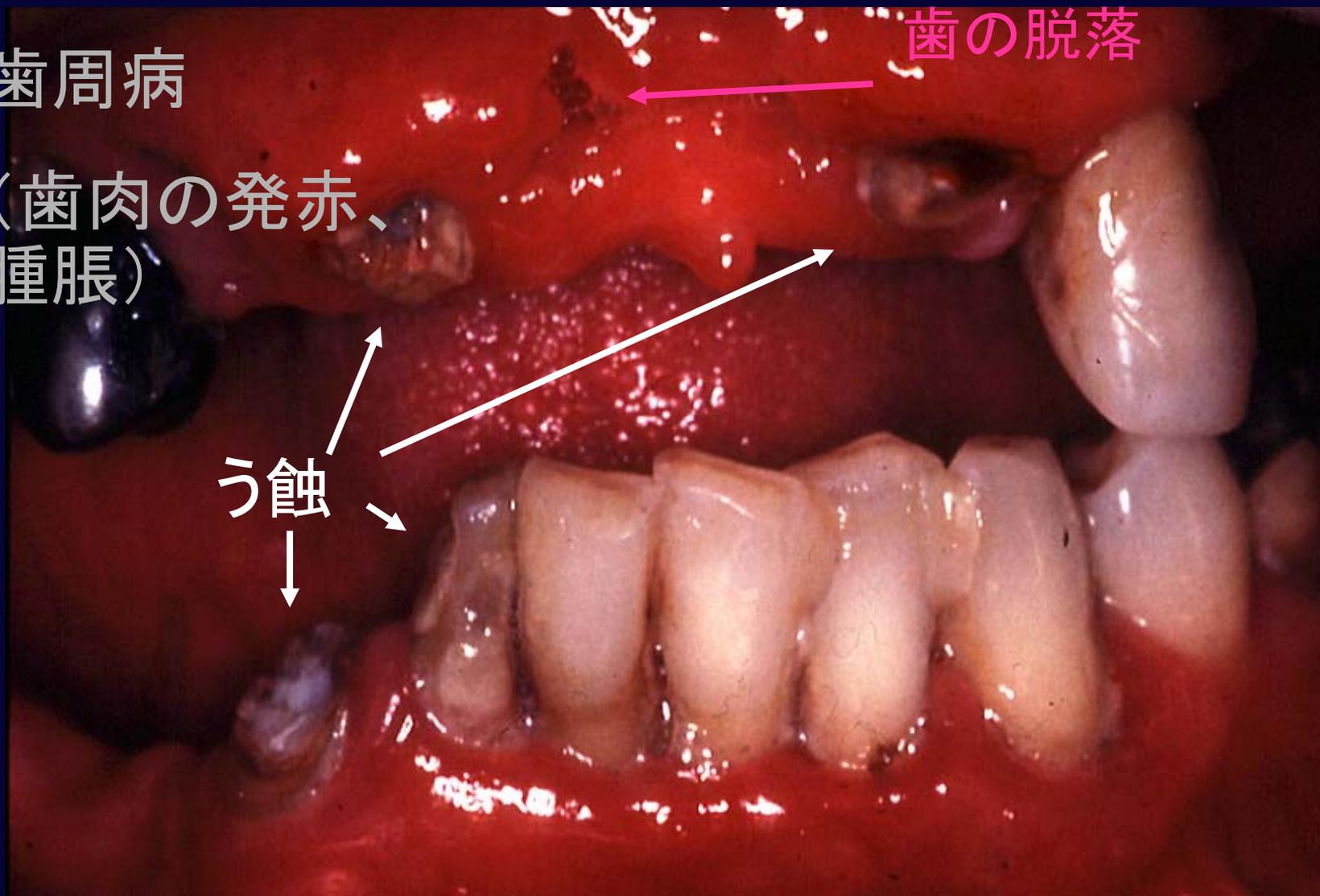
糖尿病を合併している重度歯周病患者

歯周病

(歯肉の発赤、
腫脹)

歯の脱落

う蝕



日本糖尿病学会の治療解説書より

歯周病は糖尿病の重大な合併症の一つ

血糖コントロールが不良だと歯周病が増悪しやすい

歯周病が重症であるほど血糖コントロール不良、歯周病治療でインスリン抵抗性軽減し血糖コントロール改善

歯肉の出血、腫脹あれば、歯科受診をすすめる

糖尿病教育入院

糖尿病治療には患者自身の自己管理が非常に重要



1～2週間入院させ自己管理法を
習得・徹底させる

歯科疾患についても指導する

北海道大学病院第二内科における教育入院

- ・ 入院期間:1週間 1~4名が入院
- ・ 医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、**歯科医師、歯科衛生士**等が分担して患者指導

歯科医師・歯科衛生士・(歯科)看護師

…口腔内疾患についての指導

平成7年より北大病院保存系歯科が担当

現在まで(1995-2012)、約500名が受診

糖尿病教育入院スケジュール

糖尿病教育入院プログラム(6日コース)

2006/11/～

	月	火	水	木	金	月
9:00~9:45			運動療法	運動療法	運動療法	運動療法
10:00~10:30	10時までに入院 オリエンテーション	検査・受診	個人面談① 看護師担当	個人面談③ 看護師担当		
10:30~11:00	検査、受診 (レントゲン、心電図、 脈派、神経伝導速度、 眼科受診(初診)、リハ ビリテーション科受診 など		個人面談② 看護師担当	個人面談④ 看護師担当	口腔ケア 歯学部	懇談会 看護師担当
昼食			お食事会 (病院食を栄養士 と一緒に食べる)		12:00~13:15 バイキング	
13:00~13:45		運動療法オリエン 理学療法部担当	運動療法	運動療法	13:30~14:15 運動療法	運動療法
14:00~14:45		体力測定 理学療法部担当	検査技師担当	フットケア 看護師担当		栄養指導 栄養士担当
15:00~15:45	栄養指導 栄養士担当		医師担当	スタッフカンファ レンス	服薬指導 薬剤師担当	口腔ケア 歯学部
16:00~16:45	自己血糖測定法 シックデイ 看護師担当	服薬指導 薬剤師担当			検査結果説明 医師担当	

糖尿病教育入院中の歯科プログラム

教育入院中に2回実施

- 1回目： 講義（糖尿病と歯周病）
問診
口腔内診査（う蝕・歯周ポケット・
プラークチャート他）
口腔清掃指導（1回目）
X線診査

歯科での糖尿病教室

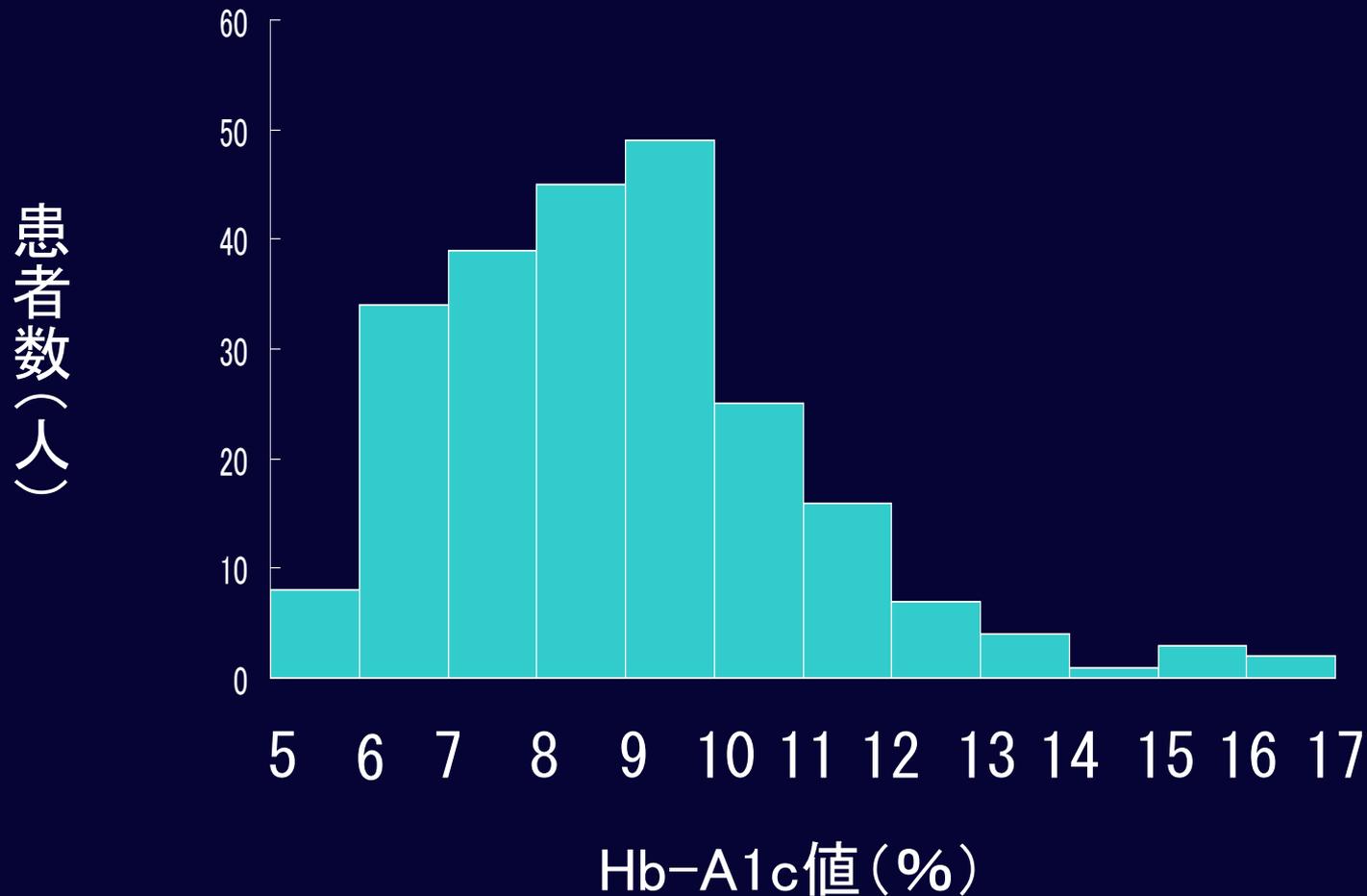


糖尿病教育入院中の歯科プログラム

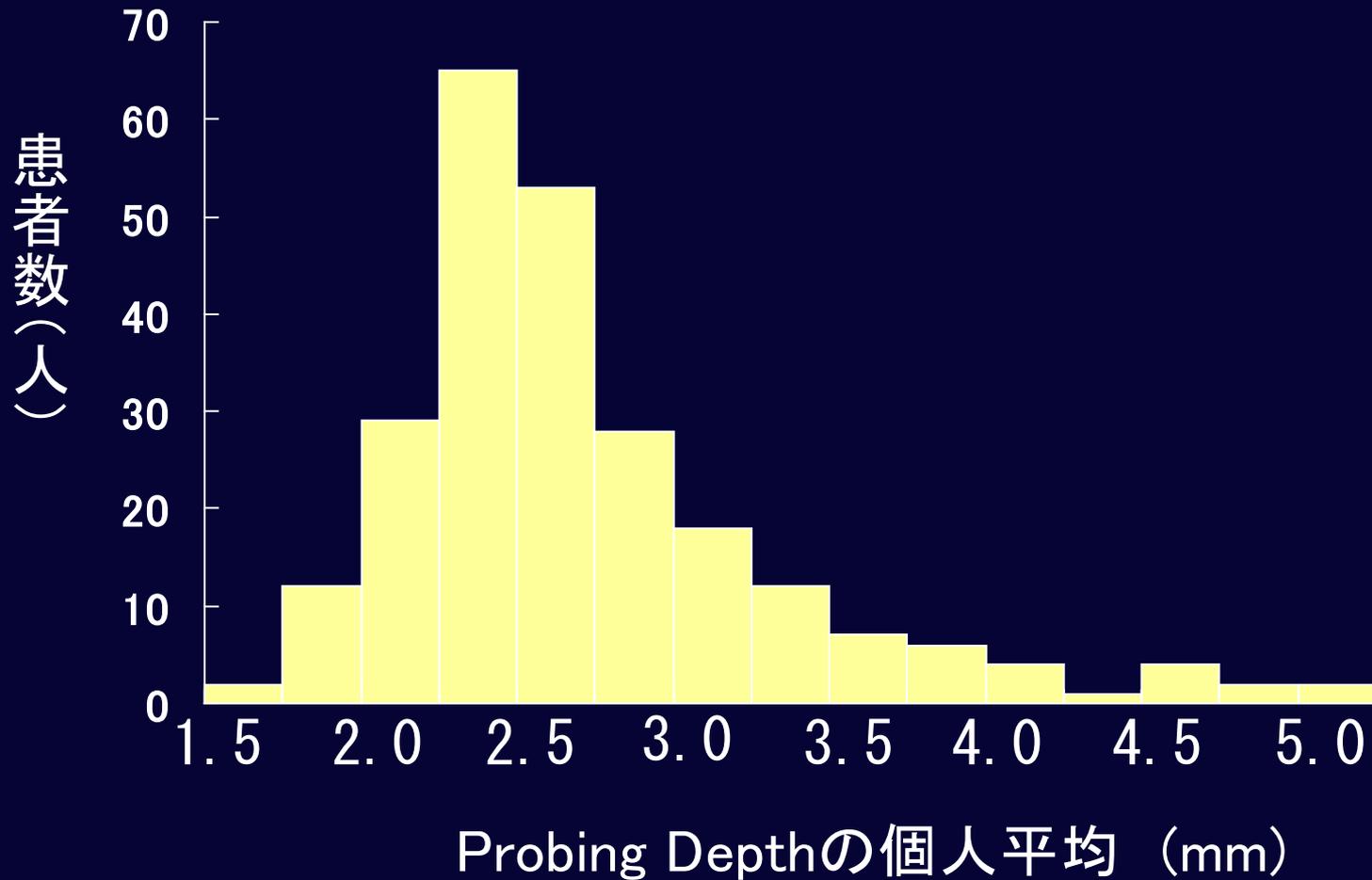
教育入院中に2回実施

2回目：診査結果について総合的に説明
歯科疾患についての個別指導
口腔清掃指導（2回目）
超音波スケーリング
必要に応じて治療勧告

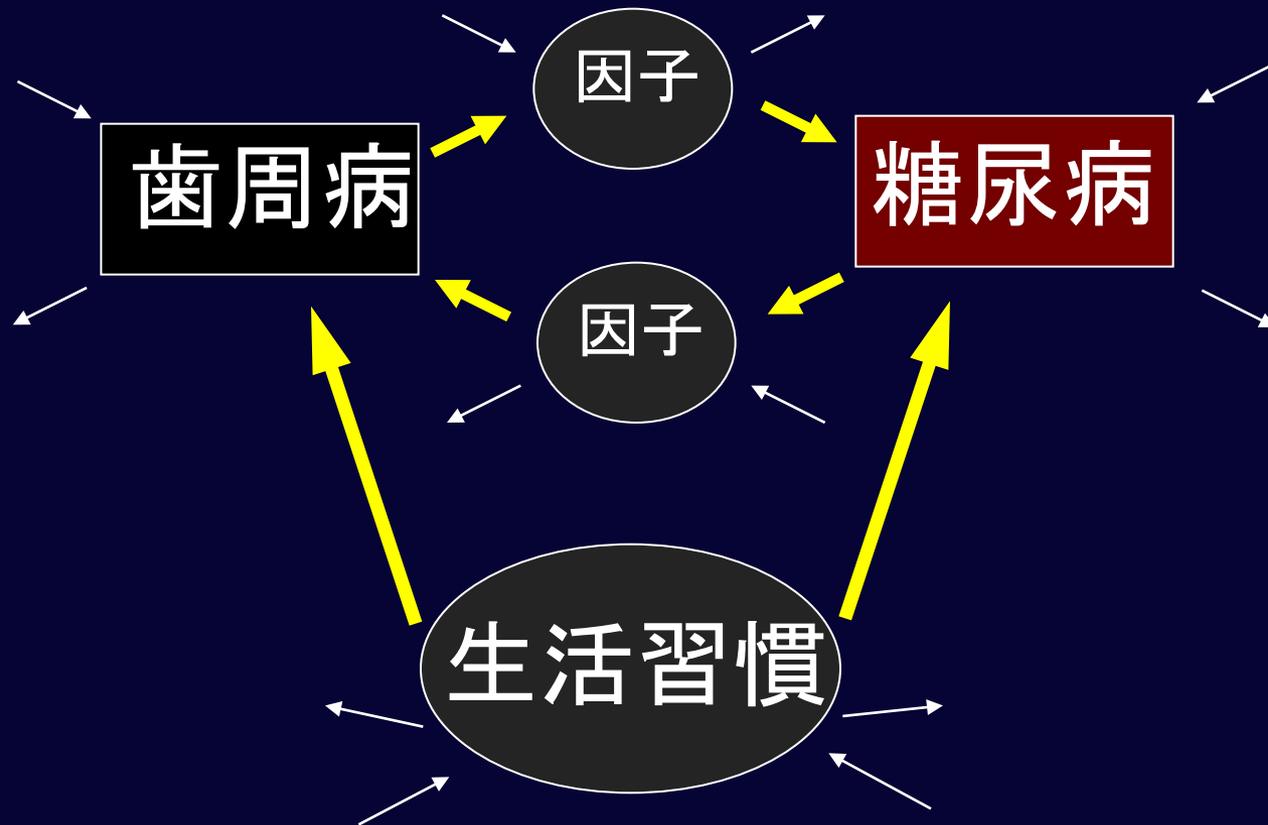
教育入院参加患者のHb-A1c値の分布



教育入院参加患者の 平均 Probing Depth の分布



「歯周病罹患と糖尿病罹患との関連が高い」とは



糖尿病教育入院患者の歯周病罹患状態と生活環境との関連

○岩坂 憲助、根岸 淳、寺田 裕、松橋 千佳子、
小神 絵里子、本郷 哲也、川浪 雅光

日歯周誌, 43:(秋季特別号), 2001

糖尿病教育入院患者の糖尿病の状態・生活
状態と歯周病の状態の関連について検討

Association between Lifestyle and Periodontal Disease Status in Diabetic Patients

○ Jun NEGISHI, Masamitsu KAWANAMI, Yutaka TERADA, Chikako MATSUHASHI, Eriko OGAMI, Kensuke IWASAKA, and Tetsunari HONGO

2003 Annual Meeting, AAP/JSP, San Francisco.

Effect of Lifestyle on Periodontal Disease Status in Diabetic Patients

Negishi J, Kawanami M, Terada Y, Matsuhashi C, Ogami E, Iwasaka K, Hongo T. *Journal of the International Academy of Periodontology* 2004; 6: 120-124.

糖尿病教育入院患者の糖尿病の状態・生活状態と
重度歯周炎との関連について検討

糖尿病患者の歯周病罹患状態と生活状態

統計学的分析により、睡眠障害や飲酒習慣、生活行動の特徴などの患者の生活状態は血糖コントロールの状態とともに、**歯周病の罹患状態と関連している**と考えられた。

平成18年3月3日

歯周炎の 糖尿病に対するリスク分析

北海道大学大学院歯学研究科口腔医学専攻
口腔健康科学講座 歯周・歯内療法学教室

根岸 淳、小神 絵里子、本郷 哲也、石塚 良介、
鎌田 かおり、原橋 宏幸、邱 慧弦、川浪 雅光

被験者

平成8年9月～平成16年11月に

北海道大学病院第二内科で教育入院、

歯科保健指導を受けるため

同病院保存系歯科を受診した

2型糖尿病患者196名

ロジスティック回帰分析の結果

1. HbA1c値 (>9.0%)

有意な因子検出できず

2. 網膜症への罹患

Probing Depthの平均値が関連

3. 腎症への罹患

有意な因子検出できず

4. 神経障害への罹患

Probing Depthの平均値が関連

結 論

歯周炎を持つ糖尿病患者は、
他の合併症のリスクが高い
と考えられた。

糖尿病教育入院後の歯科治療

当院へ継続通院

かかりつけ医で継続

他院紹介

メンテナンスのみ(3カ月後受診)

現在30名前後が北大歯科診療センターを
継続受診

根岸担当では20名(/100名)

教育入院後歯科通院し歯周病が改善した患者

歯科初診時



約5年後



教育入院への取り組みの変化

初期 紹介された患者を診察するのみ

1998～ 教育入院全体会 代表者会議に参加

2003 医学部・歯学部附属病院統合

2008～医療情報システム(電子カルテ)
による情報共有

2011～ 全体会で研修会開催

糖尿病療養指導士 セミナー

糖尿病療養指導士：

看護師、栄養士など糖
尿病の専門知識を持つ
スタッフの資格

糖尿病療養指導士セミナー

日時：2月23日(水) 18時15分～19時45分

会場：北海道大学病院 2階 症例検討室1.2

住所/ 札幌市北区北14条西5丁目

TEL/ 011-706-5815(第二内科 本間、赤澤)

謹啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品にて大変お世話になりまして、誠に有難うございます。

さて、この度、下記の要項にて「糖尿病療養指導士セミナー」を開催させて頂く運びとなりました。

大変ご多忙とは存じますが、何卒ご出席賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

□■□■□プログラム□■□■□

18時15分～19時00分=====

《座長》

北海道大学大学院 医学研究科 内科学講座・第二内科 講師 三好 秀明 先生

「糖尿病と歯周病 ～合併症としての考え方～」

北海道大学病院 口腔総合治療部 講師 根岸 淳 先生

19時00分～19時45分=====

《座長》

北海道大学病院 栄養管理部 副部長 管理栄養士 高崎 裕代 先生

「当院における栄養指導とカーボカウントの実践」

小野百合内科クリニック 管理栄養士 佐藤 舞子 先生

本研究会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会(認定番号:××-×××)、第2群:糖尿病療養指導士の認定単位(0.5単位)」として実施いたします。

当日は軽食をご用意しております。

共催:北海道大学病院 第二内科 糖尿病教育入院運営委員会 / サノフィアベンティス株式会社

教育入院への取り組み—今後

教育入院時歯科受診の前後にスタッフミーティング、カンファレンスを行い、情報の共有とディスカッション、振り返りを行う。—スタッフ(Dr.含む)のスキルの向上をはかる

医療情報システムの更新—より容易に情報の共有と部門間の連絡、実施状況の分析

歯科内でも糖尿病について研修会開催—スタッフ全体のレベルアップ

糖尿病と歯周病 医療連携の課題

—まとめにかえて

検査データだけではわからない部分多い

→情報交換の場が必要

糖尿病患者の口腔管理の必要性のさらなるアピールが必要 ...医療界全体・一般に対して

→歯周病だけではなく「歯科」として

たとえば咀嚼機能の保全、回復など